



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和7年12月13日(土)

第26回 のしろまち灯り開催

～南いよ風景かいどうとの灯り交流～ 編

季節が冬となってもクマの出没が収まらないことから、今年の「のしろまち灯り」は上町に会場を縮小して開催されました。それでも多様な灯りがあちこちに展示され、いつになく穏やかな冬空の下、多くの方が影絵探しもしながら歩いて下さいました。

今年9月に始まった「南いよ風景かいどう」との灯り交流。愛媛県宇和島市の「遊子段畑の夕涼み会」にて能代の灯りやポスター等を展示させていただき、強烈な日差しと酷暑も体験してきましたが、今回はその反対です。

愛媛大学の羽鳥先生、四国地方整備局大洲河川国道事務所計画課の谷野さん、田中さん、矢上さんの4人がおいで下さり、遊子小学校の児童たちのメッセージ付きの竹灯ろうや割り箸と和紙でできた灯籠のほか、イベントの様子を紹介する動画や取り組み紹介のパネルなどを能代ふれあいプラザ・サンピノで展示いただきました。また、ご滞在中には日没が早く、強い北西の風とともに下がる体感温度、ツルツルの路面といった能代らしい冬もご体験いただきました。

また、能代河川国道事務所は上町からは離れていますが、12月8日(月)～13日(土)の16時から18時まで、今年も事務所内外に灯りを展示してイベント支援をして下さいました。

木杭丸太の端材を活用したスギ灯りで始まった「のしろまち灯り」。灯りの種類は増え、函館や宇和島の灯りも展示されるようになりました。この先も賑わい創出や地域交流の一つとして、続くことを願っています。

ご来能下さいました四国のみな様、来年以降もどうか宜しくお願いいたします。

文：渡辺 千明

* 令和7年9月6日の活動レポート参照



上町通り入り口のスギ灯りや杉ツリー(上)。いつもは皇町通り等に並ぶキッチンカーもあってギュッとコンパクトな会場となりました(下)。



南いよ風景かいどうの灯りは、点灯時には函館のシーニックバイウエイの皆さん伝授によるワックスキャンドルとともに屋外に並べられました(上)。サンピノ内でパネル等を展示いただきました(下)。



能代河川国道事務所内外の灯り展示。